

株式会社リンクアンドモチベーション

2015年12月期 第3四半期

決算説明会



ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする

Link and Motivation Group



特別調査・検証委員会からの提言に基づき、再発防止策を順調に実施中

- 決裁プロセスの改善、購買プロセスの改善、牽制機能強化
⇒再構築した新プロセスでの運用を開始
- コンプライアンス意識の改善
⇒グループ全社員への研修を10月初旬に実施
⇒11月中旬より更に充実した内容の研修を開始
- 内部監査の強化・拡充
⇒内部統制の有効性評価範囲を拡大

1. 2015年12月期 第3四半期 連結決算報告

2. Topics

- ①: インキュベーション事業の順調な拡大
- ②: 2015年12月「ウェルネス経営協議会」を発足
- ③: 当社の「女性活躍推進」に関する現状と方針

1

2015年12月期 第3四半期

連結決算報告

The background of the top section features a photograph of a modern building facade with a glass and metal grid. The company logo, consisting of three vertical bars of increasing height, is visible on the building. Below the logo, the text "Link and Motivation Group" is written in a sans-serif font.

Link and Motivation Group

リンクアンドモチベーショングループ事業構造



リンクアンドモチベーション
グループ

ビジネス部門

- ① 組織人事コンサルティング事業
- ② イベント・メディア事業
- ③ 人材紹介・派遣事業
- ④ ALT配置事業

コンシューマー部門

- ⑤ スクール事業
- ⑥ エンターテインメント事業

事業構造の概要

LM-G

ビジネス部門

① 組織人事コンサルティング事業

社員のモチベーションに着目した組織人事コンサルティング
⇒組織診断、育成研修、人事制度構築、採用コンサルティングなどを提供

② イベント・メディア事業

組織のコミュニケーションに着目したイベント企画運営・メディア制作
⇒周年イベント、採用イベント、PR・IRツール、動画配信などを提供

③ 人材紹介・派遣事業

企業の人材ニーズに対応した人材紹介・派遣
⇒新卒・中途採用の人材紹介、販売職や事務職の人材派遣などを提供

④ ALT配置事業

学校法人の教員ニーズに対応したALTの配置
⇒全国の小・中学校などへのALTの派遣・請負を提供

コンシューマー部門

⑤ スクール事業

“アイ・カンパニーを育む”をコンセプトにしたスクール運営
⇒PCスクール「AVIVA」、資格スクール「DAIEI」等のキャリアスクール運営、
学習塾「モチベーションアカデミア」の運営

⑥ エンターテインメント事業

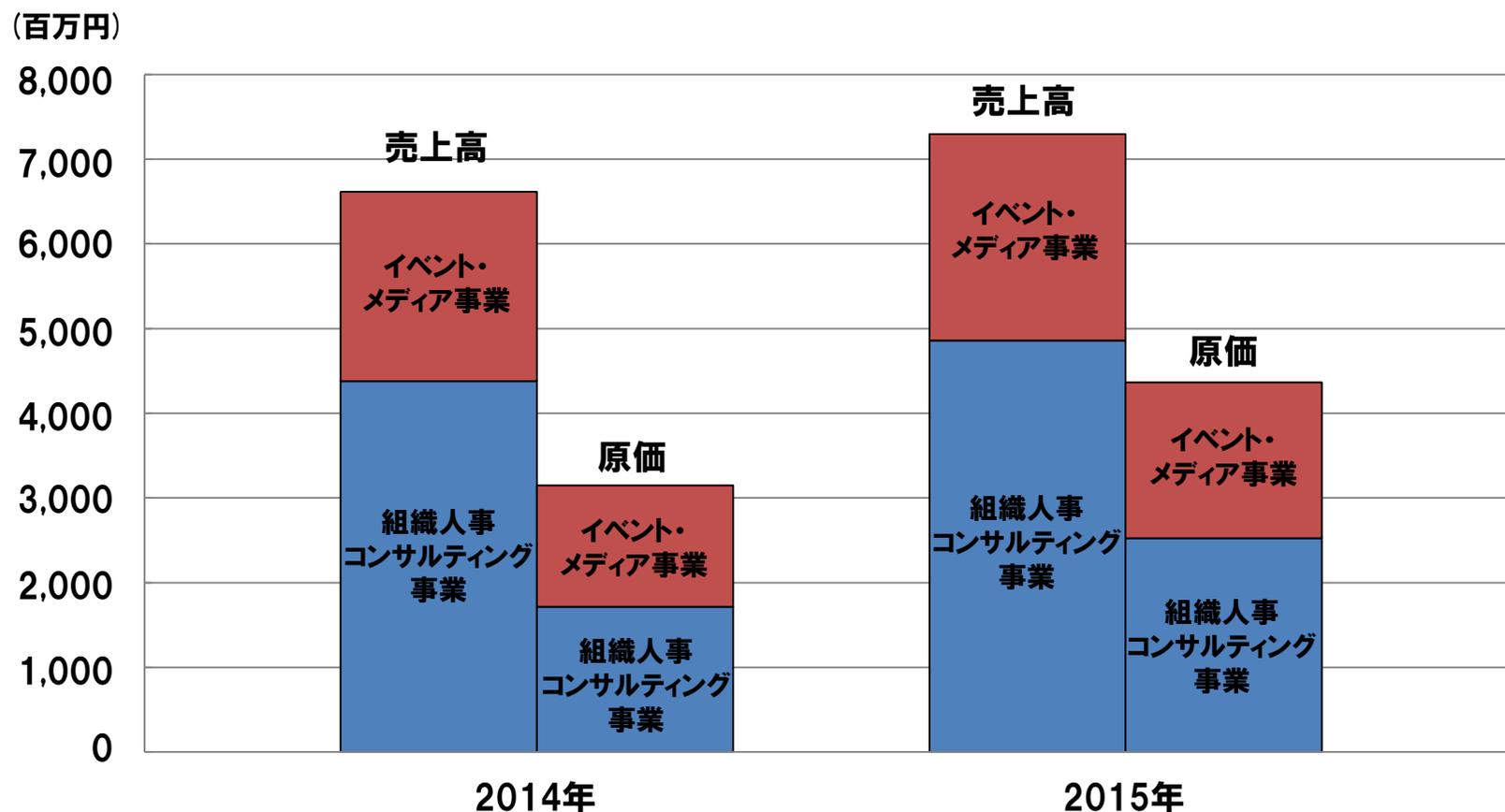
個人の“生きがい創出”をコンセプトにしたエンターテインメントの提供
⇒バスケットボール球団「リンク栃木ブレックス」の運営、
レストラン「リンクダイニング」の運営

連結損益計算書（実績 前年比 計画差）

（単位：百万円）	2014年 実績	2015年 実績	前年比	2015年 計画	計画差
売上高	20,594	23,539	+14.3%	24,500	-960
売上総利益	7,388	7,715	+4.4%	8,200	-484
販売管理費	6,511	7,492	+15.1%	7,200	+292
営業利益	877	223	-74.6%	1,000	-776
経常利益	843	177	-78.9%	-	-
当期利益	283	-14	-	-	-

- インタラックの連結範囲加入により、**売上高は前年比で大幅に増加するも、計画値に未達**
- ビジネス部門の原価率上昇により、**売上総利益も計画値に未達**
- 不適切会計事案対応、統合拠点設立と基幹システム刷新等の増加により、**販売管理費が計画値を超過し、営業利益以下は前年比で大幅に減少**

連結損益計算書 売上高・売上総利益 計画差異要因



- ビジネス部門の組織人事コンサルティング事業とイベント・メディア事業において、企業の採用活動時期変更を好機と捉え、大幅な売上増を計画していたものの、好機を十分に捉えられず、**売上高が計画値に未達**
- 更に、売上計画を見込んで外注先確保や人員投下を先行的に実施していたため、原価が前年比で大幅に増加し、**売上総利益が計画値に未達**

連結損益計算書 販売管理費 計画差異要因

(単位:百万円)	2014年 実績	2015年 実績	前年比
人件費	2,791	3,135	+12.3%
採用・研修・福利厚生費	307	381	+24.1%
地代家賃	448	508	+13.4%
オフィス・システム経費	575	781	+35.8%
販売関連費用	1,361	1,405	+3.2%
交通費等 その他費用	534	573	+7.3%
のれん償却費	492	550	+11.8%
不適切会計事案対応費用	-	161	-
販売管理費 合計	6,511	7,492	+15.1%

- 前提として、(株)インタラックの加入により、全体的に前年比で増加(影響額:629百万円)
- グループ内の事業シナジー促進を企図した、統合拠点設立や、基幹システムの刷新により、**オフィス・システム経費が一時的に増加(影響額:163百万円)**
- 不適切会計事案対応により、**監査報酬等の費用を一時的に計上(影響額:161百万円)**

セグメント別 売上高・売上総利益（実績 前年比）

（単位：百万円） ※<>内は売上総利益		2014年 実績	2015年 実績	前年比
ビジネス部門	売上高	15,061	18,437	+22.4%
	売上総利益	<5,630>	<5,681>	+0.9%
コンシューマー部門	売上高	6,334	5,901	-6.8%
	売上総利益	<2,156>	<2,297>	+6.5%

- ビジネス部門は、(株)インタラックの連結範囲加入が寄与し、**売上高は前年比で大幅増加**しかしながら、採用領域の外注原価増加が影響し、**売上総利益は前年比で微増**
- コンシューマー部門は、スクール事業の不採算拠点の統廃合の影響で、**売上高は前年比減少**しかしながら、収益構造の改善が進み、**売上総利益は前年比で増加**

ビジネス部門 事業別 売上高・売上総利益（実績 前年比）

（単位：百万円） ※<>内は売上総利益		2014年 実績	2015年 実績	前年比
①	組織人事	4,377	4,858	+11.0%
	コンサルティング事業	<2,662>	<2,332>	-12.4%
②	イベント・メディア事業	2,236	2,435	+8.9%
		<801>	<598>	-25.3%
③	人材紹介・派遣事業	5,460	5,636	+3.2%
		<1,340>	<1,339>	-0.0%
④	ALT配置事業	4,499	7,090	+57.6%
		<1,120>	<1,836>	+63.9%

※ ALT…Assistant Language Teacherの略で、小・中学校の外国語指導助手のこと。 ※ 2014年実績は、2014年4月～9月の実績を表示。

- ①組織人事コンサルティング事業は、管理職研修のニーズを捉え、**売上高は大幅増**
一方で、採用領域の外注原価増加のため、**売上総利益は大幅減**
- ②イベント・メディア事業は、映像・紙メディア活用のニーズを捉え、**売上高は増加**
一方で、採用領域の外注原価増加のため、**売上総利益は大幅減**
- ③人材紹介・派遣事業は、企業の人員増のニーズを捉え、**売上高は増加**
一方、人材調達コストの高止まりのため、**売上総利益はほぼ横ばい**
- ④ALT配置事業は、講師数が順調に増加し、**売上高・売上総利益共に堅調に推移**

ビジネス部門 事業別 プロダクト売上高（実績 前年比）

（単位：百万円）	2014年 実績	2015年 実績	前年比
① 組織人事コンサルティング事業	4,377	4,858	+11.0%
パッケージ	1,611	1,785	+10.8%
コンサルティング	2,167	2,002	-7.6%
アウトソーシング ※	224	660	+194.5%
データベース	270	290	+7.7%
会員サービス	106	121	+13.7%
② イベント・メディア事業	2,236	2,435	+8.9%
イベント制作	1,600	1,643	+2.7%
メディア制作	637	793	+24.4%

（単位：百万円）	2014年 実績	2015年 実績	前年比
③ 人材紹介・派遣事業	5,460	5,636	+3.2%
販売職派遣	4,416	4,394	-0.5%
営業職派遣	145	107	-26.3%
事務職派遣	52	440	+754.6%
営業請負 ※	446	228	-48.9%
新卒動員・紹介	360	407	+13.3%
中途紹介	42	60	+42.7%
④ ALT配置事業	4,499	7,090	+57.6%

※③の営業請負は、2015年度第2四半期より、①のアウトソーシングに実績を計上

- ①組織人事コンサルティング事業では、管理職研修の販促強化により、**パッケージが大幅増**
企業の営業請負のニーズを捉え、**アウトソーシングが前年比大幅増**
- ②イベント・メディア事業では、採用イベント減少の影響を受けるも、**イベント制作が前年比増**
広報IR領域における、映像・紙メディア活用のニーズを捉え、**メディア制作が前年比大幅増**
- ③人材紹介・派遣事業では、注力してきた**新卒動員・紹介及び中途紹介が前年比大幅増**
コンシューマー部門のスクール事業との接続強化が奏功し、**事務職派遣が前年比大幅増**

コンシューマー部門 事業別 売上高・売上総利益（実績 前年比）

（単位：百万円） ※<>内は売上総利益		2014年 実績	2015年 実績	前年比
⑤	スクール事業	5,875	5,388	-8.3%
		<1,975>	<2,095>	+6.1%
⑥	エンターテインメント事業	483	533	+10.3%
		<189>	<208>	+9.9%

- スクール事業は、不採算拠点統廃合（128校→108校）により、**売上高は前年比で減少**
一方、収益構造の改善が進み、**売上総利益は前年比で増加**
- エンターテインメント事業は、“リンク栃木ブレックス”のプレーオフ進出により試合数が増加し、
チケット収入やスポンサー収入が増え、**売上高は前年比大幅増、売上総利益は増加**

コンシューマー部門 事業別 プロダクト売上高（実績 前年比）

(単位:百万円)	2014年		2015年		前年比
	実績	構成比	実績	構成比	
⑤ スクール事業	5,875 <1,975>	-	5,388 <2,095>	-	-8.3% +6.1%
PC	3,067	52%	2,678	50%	-12.7%
公務員	654	11%	694	13%	+6.1%
会計	522	9%	423	8%	-19.0%
国家試験	370	6%	388	7%	+4.9%
法人研修等	668	11%	786	15%	+17.7%
教材等販売	317	5%	246	5%	-22.4%
検定等販売	101	2%	63	1%	-37.6%
学習塾	177	3%	111	2%	-37.6%
⑥ エンターテインメント事業	483 <189>	-	533 <208>	-	+10.3% +9.9%

- 拠点統廃合の影響で売上高が全体的に減少する中、
公務員講座と国家試験講座は堅調に推移し、**前年比増**
- ビジネス部門との連携で新入社員向けPC講座が堅調に推移し、法人研修が**前年比大幅増**
- 学習塾に関しては、柏校の戦略的撤退が影響し、**前年比大幅減**
しかしながら、自由が丘校が堅調に推移し、既存校（渋谷校、自由が丘校）は**前年比大幅増**

連結貸借対照表（実績 前年比）

（単位：百万円）	2014年末	2015年 第3四半期	当期増減
流動資産	6,198	6,479	+281
固定資産	11,687	12,207	+520
繰延資産	10	7	-3
資産合計	17,896	18,694	+798
流動負債	7,785	9,494	+1,709
固定負債	3,276	2,756	-520
純資産	6,834	6,443	-391
負債・純資産合計	17,896	18,694	+798

- 統合拠点設立や、基幹システムの刷新により、**固定資産が大幅に増加**
- 納税に伴う資金需要により短期借入金が増加したため、**流動負債が大幅に増加**
- 長期借入金の定期返済により、**固定負債が順調に減少**
- 配当金の支払により、**純資産が減少**

● 2015年12月期 配当方針

- ・四半期配当の実施

● 2015年12月期 第3四半期 配当予定

- ・当初予定通り110円の配当を12月25日(金)に実施予定

	第1四半期 配当実績	第2四半期 配当実績	第3四半期 配当予定	第4四半期 配当予定
単元株当たり 配当額	110円	110円	110円	110円

業績予想の修正

(単位:百万円)	2014年 実績	修正前		修正後	
		2015年予測	昨対比	2015年予測	昨対比
売上高	28,873	33,000	+14.3%	31,800	+10.1%
営業利益	1,751	1,930	+10.2%	1,050	-40.0%
経常利益	1,665	1,860	+11.7%	1,000	-39.9%
当期利益	950	1,060	+11.6%	680	-28.4%

- 第4四半期はほぼ当初計画通りの実績を見込むものの、第3四半期累計の結果を反映し、各段階において業績予想を下方修正

2

Topics



- ①: **インキュベーション事業の順調な拡大**
- ②: **2015年12月「ウェルネス経営協議会」を発足**
- ③: **当社の「女性活躍推進」に関する現状と方針**

Topics①: インキュベーション事業の順調な拡大

① 株式会社リッチメディア



② 株式会社うちナビ



③ 株式会社エージェントゲート



④ 株式会社FROM SCRATCH



⑤ 株式会社アカツキ



⑥ 株式会社FiNC



⑦ 株式会社ネオキャリア



⑧ 株式会社リーディングマーク



⑨ 株式会社スクー



⑩ ラクスル株式会社



⑪ リノべる株式会社



⑫ 株式会社LiB



⑬ 株式会社PLAN-B



⑭ 株式会社イノベーション



新規案件 11月4日付

⑮ 株式会社ブルーウォールジャパン
事業内容: 企業向けソーシャルレンディング



- 新規案件として(株)ブルーウォールジャパンへ出資完了
- 今後も出資比率3%~10%を目安に成長ベンチャー企業へ出資し、組織人事側面をサポート

Topics②:2015年12月「ウェルネス経営協議会」を発足

～当社も含めた下記の20社が発起人となり、
従業員の心身の健康を増進するウェルネス経営を社会全体へ広げていく～

ANA

あなたと、コンビニに、

FamilyMart



Link and Motivation Group

JOYFIT



Tokyo Midtown
Clinic

SoftBank

MIZUHO みずほ証券



日本交通株式会社

Hot Yoga Studio
LAVA

POLARIS

Fi FiNC

GDO

Forbes JAPAN

Curves

euglena

ネスレ
Nestlé
Good Food, Good Life

YOSHINOYA
HOLDINGS



Herman Miller

neo career
ともにえがく、みらいを。

GLP
GLP J-REIT

オブザーバー：神奈川県および神奈川県横須賀市

- 各企業間で、ウェルネス経営に関する取り組みやデータの共有
- 得られたデータを社内だけではなく国内外に発信することで活動の輪を広げていく

2015年8月に成立した「女性活躍推進法案」を基にした、
当社の女性活躍推進の現状と今後の方針は下記のとおりです。

	現状	方針
①採用者に占める女性比率	54.1% 女性40名 男性34名	50%程度維持
②勤続年数の男女差	-2.3年 女性6.5年 男性8.9年	2年以下
③管理職に占める女性比率	15.1% 女性管理職25名 管理職全体166名	20%台

「モチベーションサーベイ～マゼラン～」 ※当社商品

期待度 = 会社は何を期待しているか
満足度 = 会社の何に満足しているか } の2軸で見る

モチベーションファクター

会社基盤

理念戦略

事業内容

仕事内容

人的魅力

組織風土

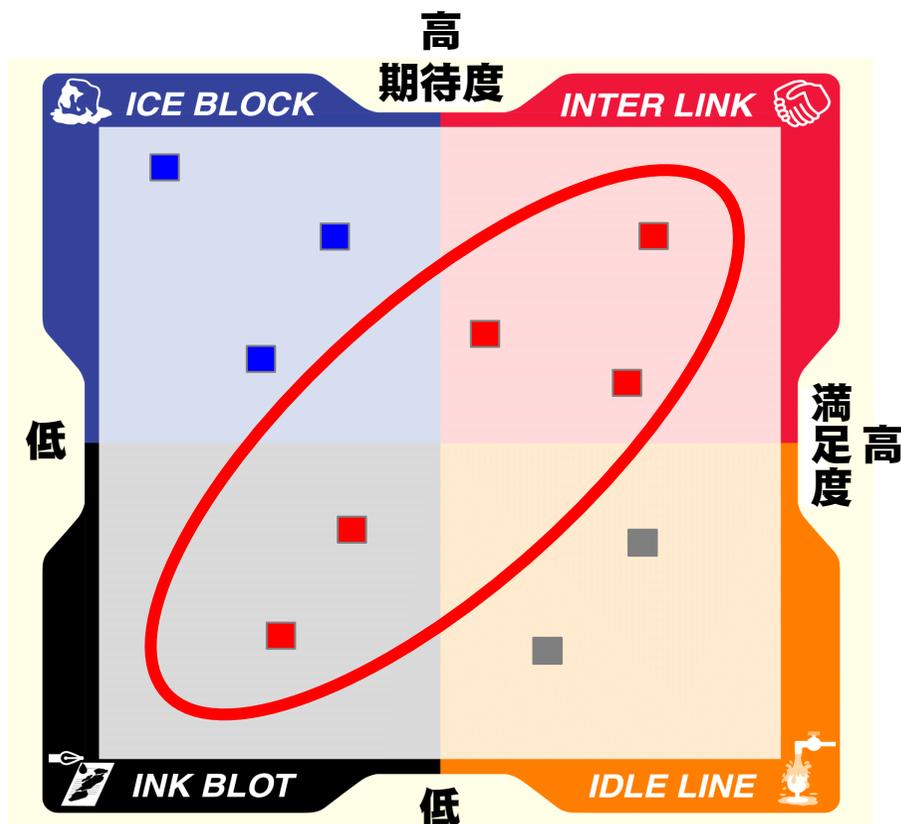
施設環境

制度待遇

直属上司

職場状況

診断結果イメージ



モチベーションインデックス(MI値)

- モチベーションサーベイの結果を基に判定される組織のモチベーション指数
- 「組織への期待」「組織への満足」「その一致度合い」などから総合的に算出される



- 社会的に要請のある指標に加え、独自の指標も加えて「女性活躍」を更に推進していく

株式会社リンクアンドモチベーション

2015年12月期 第3四半期

決算説明会



ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする

Link and Motivation Group

